

令和元年(2019年)11月15日(金)
 発行 編集 越前市議会
 〒915-8530
 福井県越前市府中一丁目13番7号
 TEL:0778-22-3426
 FAX:0778-23-3000
<http://www.city.echizen.lg.jp/shigikai/index.html>



幼児教育・保育の無償化 対応費用をはじめとした

9月補正予算審議終わる

9月定例会において、令和元年10月1日から、3歳から5歳までの幼稚園、保育所、認定こども園などを利用する子どもたちの利用料が無償化されるにあたり必要となる予算を含む、9月補正予算の審議が行われ、原案どおり可決されました。

これにより、従前は世帯の所得に応じて算定されていた保育料が、無償化されるとともに、その他、預かり保育の保育料や、認可外保育施設等の保育料についても、上限や条件が設定されているものの、無償化されることとなります。この予算にかかる費用負担は、今年度は国庫負担により行われ、次年度以降は、消費増税による税収増により賄われることとなります。

なお、補正予算のその他の内容については、2面および3面をご覧ください。

関連質疑

問 補正予算のうち、保育業務委託料642万4千円の事業内容は。

答 本年4月1日時点で保育所等待機児童が10名であったことから、待機児童の解消に向け臨時職員を採用するため、各所で募集したものの、全国的な保育人材不足から人数確保に至らなかったことから、人材派遣を活用することとした。9月補正予算で保育士5人分の経費を計上している。なお、9月1日現在で待機児童が1名であるが、10月1日には解消見込みである。

問 保育料の無償化により、ますます需要が増えると考えられるが、今後の人材確保のための対応策は。

答 保育士の確保策については、10月に県が保育人材センターを設置することとなっている。県保育人材センターは、市が把握していない、資格がありながら就職していない潜在的な保育士確保のために設置するものである。対象資格者へのアプローチが可能となるとともに、現場を離れていた保育士への研修を行うことで、各市町の不足する保育需要に対応できるものと見込まれている。

正副議長決まる

令和元年9月20日に、正副議長の辞職願の提出に伴い、正副議長選挙が行われました。当選結果は次のとおりです。

副議長



大久保健一
 期数2期 / 63歳
 教育厚生委員長などを歴任
 【誠和会(自民)】

議長



三田村輝士
 期数4期 / 64歳
 副議長などを歴任
 【市民ネットワーク】

また、正副議長の交代に伴い、各常任委員会委員および各組合議会議員についても変更がありました。詳しくは、6面記事をご覧ください。

本号の主な内容

- 2面 ◆ 議案質疑・審議結果
- 3面 ◆ 委員長報告
- 4～6面 ◆ 一般質問
- 6面 ◆ 決算特別委員会設置
12月定例会日程
- 7面 ◆ 議会モニター会議
- 8面 ◆ 高山市との行政懇談会

9月定例会の概要

令和元年9月越前市議会定例会は、9月2日から9月20日までの19日間にわたって開かれました。

この定例会では、令和元年度一般会計補正予算案など予算案2件、越前市印鑑条例及び越前市個人番号カードの利用に関する条例の一部改正についてなど条例案3件、市道路線の認定についての一般議案1件が提出され、本会議における質疑、各常任委員会の審査を経て、いずれも原案どおり可決されました。さらに、専決承認案1件が承認されました。

また、教育委員会委員、公平委員会委員、人権擁護委員に関する人事案4件に同意しました。このほか、地方財政の充実・強化を求める意見書案1件を可決しました。

各決算認定案8件については、決算特別委員会を設置し、閉会中の継続審査としました。

9月補正予算

一般会計 3億3,391万円9千円の追加補正
(補正後総額 370億5,992万9千円)

- ・シルバー人材センター移転に伴う国高労働福祉センター改修工事
- ・国高幼稚園放課後児童クラブ整備に伴う改修工事 ほか

9月定例会 議案審議



補正予算審議

■ 丹南広域農道の県道昇格に向けた台帳整備

単独道路維持改修事業

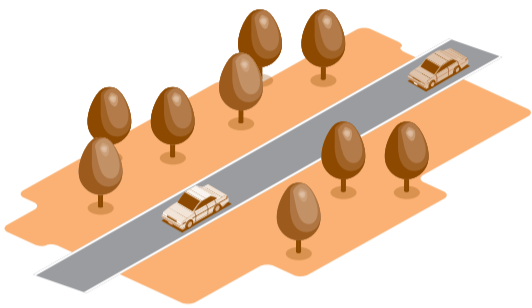
500万円

問 広域農道の県道振り替えに伴う台帳整備とのことだが、具体的な内容は。

答 県道への昇格にあたって道路台帳の作成が必要となる。道路の平面図、横断面などの台帳整備、また証明台帳、樹木台帳、消雪台帳等の整備を行うための費用を計上している。既存の農道台帳を活用して道路台帳作成を行いたい。

問 補正は台帳整備に係る委託料のみだが、生活に密着した道路などの維持修繕の要望が多く出てきている状況において、9月補正で要望をとりまとめるという考えはなかったのか。

答 道路の改修、側溝の整備や舗装の修繕など、地元の要望は各地区や各町内から多く寄せられているのが現状である。今年度も限られた予算の中で緊急性、重要性を考慮して対応はしている。また、補助事業の活用も図りながら、対応もしている。道路は市民生活に密着した都市基盤であるため円滑な通行や交通安全の観点からしっかりと対応していきたい。



議案の議決結果

令和元年9月越前市議会定例会に提出された議案と議決結果は次のとおりです。

議案	件名	付託委員会	議決結果
議案第47号	令和元年度越前市一般会計補正予算(第4号)	総務 教育厚生 産業建設	可決(全員)
議案第48号	令和元年度越前市下水道特別会計補正予算(第1号)	産業建設	可決(全員)
議案第49号	平成30年度越前市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について		継続審査(全員)
議案第50号	平成30年度越前市工業用水道事業会計利益の処分及び決算の認定について		継続審査(全員)
議案第51号	平成30年度越前市一般会計歳入歳出決算		継続審査(全員)
議案第52号	平成30年度越前市下水道特別会計歳入歳出決算		継続審査(全員)
議案第53号	平成30年度越前市産業団地造成特別会計歳入歳出決算		継続審査(全員)
議案第54号	平成30年度越前市国民健康保険特別会計歳入歳出決算		継続審査(全員)
議案第55号	平成30年度越前市介護保険特別会計歳入歳出決算		継続審査(全員)
議案第56号	平成30年度越前市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算		継続審査(全員)
議案第57号	越前市印鑑条例及び越前市個人番号カードの利用に関する条例の一部改正について	教育厚生	可決(全員)
議案第58号	越前市子ども・子育て支援に関する基準を定める条例の一部改正について	教育厚生	可決(全員)
議案第59号	越前市栗田部体育館設置及び管理条例の廃止について	教育厚生	可決(全員)
議案第60号	市道路線の認定等について	産業建設	可決(全員)
議案第61号	専決処分の承認を求めることについて(令和元年度越前市一般会計補正予算(第3号)について)		承認(全員)
議案第62号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて		同意(全員)
議案第63号	公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて		同意(全員)
議案第64号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		同意(全員)
議案第65号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		同意(全員)
意見書案第3号	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	総務	可決(全員)

常任委員会委員長報告

提出された議案を審査するため、9月11日～13日に各常任委員会を開催しました。本会議最終日に行われた委員長報告から、令和元年度一般会計補正予算の審査結果報告の一部を紹介します。

教育厚生委員会

手話言語条例策定の進捗は

問 手話言語条例の策定の進め方は。

答 先進地視察や、聴覚障害者協会など各障害者団体の方やボランティアとのワークショップを開催し、意見を聴取しているところであり、今後当事者の意見を十分に聴取し、策定を行っていききたい。

問 聴覚障害者協会に加入していない障害者の意見は、どのように反映させるのか。

答 来年度改定予定の「市障がい者福祉計画」策定のためのアンケートを今年度実施するにあたり、聴覚障害者協会に加入していない方にも実施する中で意見を確認したい。当事者の意見を大事に、広く聴取しながら条例策定を行っていききたい。

要望 共生社会の観点から、当事者の意見はもちろん、障がいを持たない人の意見も聞きながら、条例の制定を進められたい。

保育士不足への対応は

問 待機児童解消のための保育士不足に対し、市の募集でも確保できなかったため、人材派遣事業者より保育士を派遣されたことについて、これは一時的な措置なのか。

答 人材派遣事業者からの派遣は緊急的な措置であり、10月に県が設置する保育人材センターに保育士雇用に関する相談やマッチング機能が設置され、保育人材の紹介を受けられるようになることから、その機能に期待をしている。

不登校児童生徒への支援を示せ

問 県が創設した90日以上不登校の児童生徒への支援の具体的内容は。

答 教員OBや教員免許所持者に家庭訪問支援員を依頼予定であり、単なる当事者訪問ではなく、社会的自立につながる支援という事業目的のために、気心の知れた関係の構築から、学校復帰へとつながっていききたい。

問 90日以上不登校の児童生徒が一旦登校するようになっても、再び引きこもってしまうこともある。学校に行くことだけを目的とせず、中学校を卒業してから本当に見つけられる居場所づくりを提案すべきではないか。

答 学びたいという力、前向きになる力、2つの力を身に付けてもらいたいと考えているが、すぐに成果となって現れるとは限らない。不登校の人数だけに捉われず、当事者の内面など見えない部分で成果が上がるよう、取り組んでいきたい。

問 この事業の開始によって、新たに教員OBを採用するのか。また、訪問活動の内容は。

答 今年度、市独自で不登校児童生徒へ訪問指導員を派遣する事業を行っているが、この支援員もすでに多くの児童生徒を担当しているため、教員免許を持つ新たな方を早急に見つけたい。また、活動内容については、不登校児童生徒は中学生が多い傾向にあり、高校進学を控えていることから、勉強を教えてほしいとのニーズが高い。学習方法としては、一方的に教えるのではなく、一緒に学ぶという形をとることで、本人の負担にならずに長く続けることができるように考えていきたい。

産業建設委員会

コウノトリの剥製の展示場所は

問 コウノトリのえっちゃんとしな3羽を剥製するということが、その展示場所は具体的に決まっているのか。

答 えっちゃんとしな3羽の剥製を展示することで、市内外を問わず多くの方にコウノトリが舞う里づくりをPRしたいと考えている。例えば、南越駅(仮称)周辺に建設予定である道の駅での常設展示など、現在検討している。

アスベスト対策を示せ

問 武生勤労青少年ホームを取り壊すにあたり、あらかじめアスベストの含有量を調査することだが、これまで公共施設のアスベストについてはどのように調査し、結果はどのようにしているのか。

答 平成17年12月の大気汚染防止法改正を受け、市の施設においてアスベストの含有の可能性があるものについて調査をし、各所管課の台帳で管理を行ってきた。アスベストを含有する建物は市全体で約100施設あったが、撤去や飛散防止対策等を取る中で、現在残る施設は武生勤労青少年ホームも含め24施設である。

問 アスベストを含有する24施設の利用者に対し、保護対策は取られているのか。

答 24施設については、全てアスベストの封じ込め、囲い込みまたは封鎖という措置がなされており、利用者への安全対策を取った状態である。なお、建物の解体や改築などの工事を行う際には、国が定めた作業基準を順守したアスベスト除去を行っている。

シルバー人材センターの移転経緯は

問 シルバー人材センターの事務所を旧国高診療所から国高労働福祉センターに移転することについて、移転先の妥当性をどのように検討したのか。

答 市公共施設等総合管理計画の基本方針に基づき売却する旧国高診療所からの移転先を探す中で、国高労働福祉センターについて、

て、昨年の指定管理者評価委員会で施設の在り方を再検討するよう指摘を受けるとともに、この施設については、耐震診断の結果、大きな改修費用を要せずに安全が確保できること、耐震化工事を実施すれば今後30年程度の延命化が可能との判断がされたことから、国高労働福祉センターを改修し、シルバー人材センターを移転することとした。国高労働福祉センターは、駐車場が広く、事務所と作業所のスペースをセットで確保できることから、シルバー人材センターからも了承を得られている。

問 国高労働福祉センターと、隣接する国高ふれあいセンターは、現在瓜生町が指定管理者となっているのか。また、改修後の管理はどのようにするのか。

答 国高労働福祉センターと国高ふれあいセンターの2施設については、今年の4月から指定管理を外し、業務委託に変更した。今後の管理については、まだ協議中であるが、引き続き地元瓜生町の方にとっても利用しやすい形を協議していききたい。



国高労働福祉センター外観

総務委員会

個人番号カードの利用環境は

問 越前市における個人番号カードの現在の交付状況は。

答 8月末現在で8,655枚、人口比で10・41%の交付状況となっている。

問 カードの交付により様々な付加価値や利用環境の向上がうたわれているが、実際の利用状況について、どのように認識しているか。

答 今後のカードの利用環境の拡大が国のほうで進められており、健康保険証としての利用をはじめ、納税手続のオンライン化

など、さまざまな利用シーンの拡大により、利便性の向上に繋がると聞いている。

要望 カードの交付は強制ではなく、任意であると認識しており、不交付を選択することが、不利益へと繋がることのないよう、行政として、国へとはたらきかけられたい。

問 身分証としての利用の際に、個人番号カードではなく、運転免許証を求められた経験がある。交付対象者だけでなく、本人確認を行う側への周知もなされているのか。

答 実態の正確な把握に努めるとともに、活用の方針に反する事例が確認された場合は、国の示す取扱いの考え方を改めて周知されるよう、県や関係機関の連携について要望していく。

防犯カメラ設置事業の詳細は

問 防犯カメラの設置に関する補助金に関して、事業の内容と、予算計上までの経緯は。

答 県の6月補正予算によって防犯カメラの設置に対する補助事業が計上され、県、市、設置自治会のそれぞれが事業費を3分する負担割合により事業を実施する。県の補正予算成立に先立って行われた各自治振興会への事前ヒアリングにおいて、防犯カメラの設置に関して意向を確認したところ、4振興会が設置の意向を示したため、合計15台分の補助費を予算計上したものである。

問 設置された防犯カメラの維持管理経費というハード面と、録画された映像データの管理というソフト面、それぞれについてどのように認識しているか。

答 今回の事業は、カメラの設置に関する費用についてのみの補助事業であり、維持管理にかかる費用は、設置自治振興会が負担することになる。また、録画内容に関する個人情報やプライバシーの配慮については、県の補助要綱において、設置及び運用に関する要領を各自治振興会で作成し、その中に画像管理や、利用および閲覧、提供の制限等を規定することを挙げており、作成された要領の通りであること、十分な配慮がなされるものと考えている。

9月定例会
一般質問

9月定例会では、18人の議員が9月8日～10日の3日間、一般質問を行いました。多くの質問項目の中から1人1項目を選び、ジャンルごとに質問・答弁を要約して掲載しました。なお、詳しくは市議会ホームページをご覧ください。

産 業

市産業活性化プラン改定における各産業の取組みは

問 改定活性化プランのポイントは製造業に偏っている様に感じられるが、小売業、サービス業、建設業に関する活性化の取組みは。

答 市産業活性化プランは製造業を中心とした産業においてモノづくりのイノベーションを推進し「北陸一のモノづくり都市」を目指し取り組んでいる。商業およびサービス業については市総合計画の項目に基づき各種施策を取りまとめ振興している。

他の質問項目

- ・(仮称)武生商工高校の移転について
- ・福井県原子力防災訓練に伴う越前市防災訓練について



末馬会
中西 昭雄

武生商工高校卒業生を市内企業で積極的に受け入れよ

問 (仮称)武生商工高校の卒業生を市内企業で積極的に受け入れる方を産業活性化プランに織り込み、人材確保に取り組みべきではないか

答 市では、市産業活性化プランに基づき、職業系高校の企業見学会の開催やウェブサイトに於いて市内企業で活躍する若き働き手の紹介、高校が地元企業や行政等と連携して取り組む「地域課題の研究」の推進等を通し、高校生が地域や地元企業等に目を向け、企業も地元人材の確保に積極的に取り組んでいるところであり、新高校設立後も、関係機関と引き続き連携し各種事業を推進していく。

他の質問項目

- ・市長の政治姿勢について
- ・北陸新幹線開業後の懸念について



誠和会(自民)
片粕正二郎

交 通

自動車誤発進防止装置取り付けに対する補助制度を充実させよ

問 高齢者のための誤発進防止装置取り付けにおける福井県の補助率は、東京都に比べ低いように思うが、市において県と合わせて補助していく考えはないか。

答 自動ブレーキ割引のように、自動車損害保険の割引の対象にならないか等の動向も見ながら、県補助への上乗せという方法はもとより、市単独での補助制度も含め、総合的な検討を行っていく。

他の質問項目

- ・北陸新幹線南越駅(仮称)周辺整備について
- ・丹南広域農道の県道昇格について



市民ネットワーク
吉田 啓三

早急に市民バス見直しやデマンドタクシー導入を考えるべき

問 高齢者による交通事故が取り上げられているが、公共交通が充実していない越前市では、免許証の自主返納が進まない。お年寄りや学生のためにも市民バスの見直しやデマンドタクシーの導入を考えるべき。

答 市民バスは利用者の要望や意見に対し検討を行い、利用しやすい市民バスの運行に努めていく。デマンド型交通に関しては、先進事例を参考にしながら、本市の状況に合った公共交通の在り方を引き続き検討していく。

他の質問項目

- ・家族介護者支援の在り方について
- ・子育て支援における相談体制について



政新会
安立 里美

中心市街地

北陸新幹線敦賀開業後も武生駅の利用促進を図れ

問 2023年春の北陸新幹線敦賀開業後は大阪、名古屋方面の特急が武生駅には止まらなくなることから、武生駅の利便性が悪くなり、中心市街地の衰退にならないのか。また特急存続に向けた市の考えは。

答 特急列車の機能が新幹線に置き換わることを考えると、武生駅の乗降者数は減少することが予測されるが、北陸新幹線敦賀開業後の並行在来線を運営することになる福井県並行在来線準備会社や会社構成市町と連携し、積極的な利用促進を図っていく。

他の質問項目

- ・市街地の空き家・空き店舗の活用について
- ・生活困窮者への生活支援について



志政会
題佛 臣一

総合戦略

市総合戦略の改定内容を示せ

問 人口減少時代の行財政改革として、改定予定の市総合戦略ではこれまでの対策をどう検証しているのか。大きな軌道修正はあるのか。

答 人口減少傾向が避けられない中、若い世代の転入・定住の促進および外国人市民の定住が重要な課題と考えている。さらに新たな視点として、国の基本的な考え方にある「関係人口の創出・拡大」にも取り組むことを追加し、人口減少対策に特化した第2期戦略として改定し、定住化の促進に取り組んでいく。



政新会
城戸 茂夫

観 光

藤波亭改修にあたり、紫式部公園との一体的な管理運営を進めよ

問 藤波亭は建設以来30年にわたり活用されてきたが、今回大規模な改修がされる。コンセプトは良いと思うが、今後は紫式部公園と連携した管理運営を進めるべきではないか。

答 長期にわたって誘客促進を見込める施設とするため、紫式部公園と一体的に楽しむことのできる施設とし、指定管理者制度の活用においては、専門的な知識を持った人の配置、源氏物語アカデミー等の市民ボランティア等と連携し、魅力ある施設の運営を行っていく。

他の質問項目

- ・旧今立総合支所周辺整備について
- ・インバウンド事業の進捗について



末馬会
清水 一徳

南越駅(仮称)に隣接の「道の駅」を生かし、周辺の活性化につなげよ

問 「道の駅」の費用対効果はどれくらい見込んでいるのか。また将来地域の活性化にどう生かしていくのか。

答 年間想定立ち寄り数約14万人とした場合10年で77億円の売上を計上している。「地域の価値や魅力を向上させるゲートウェイ施設」として来場者が伝統に触れる機会を演出し伝統工芸品の匠の技を紹介する観光案内所を設置する予定である。また広域交流の起点とし、丹南の伝統産業の産地や観光施設を周遊いただくことで地域の活性化につながるものと考えている。

他の質問項目

- ・越前市役所庁舎前ひろば整備工事について
- ・夏休み小学校プール開放について



誠和会(自民)
川崎 俊之



※一般質問

議員が行政全般にわたり、市長等の理事者に対し、事務の執行状況や将来の方針等について説明を求め、疑問点をたずねるために行う質問のことをいいます。

豚コレラ対策

豚コレラへの抜本対策を

被害農家と市内農家への対応措置、さらに今回の要因と諸対応の有効性は。またテキサスゲートの施工についての考えは。

7月8日市内で野生イノシシの感染が確認され、服間地区と白山地区に野生イノシシの経口ワクチンを散布した。最近では小動物や鳥からの感染も指摘されているため、豚へのワクチン接種を国へ強く求めている。特殊なグレイチングを路面に敷くことでひづめ類のけもの進入を防ぐテキサスゲートの施工には計画的対応が不可欠と考える。

他の質問項目

- ・避難行動要支援者への対応について個別支援計画の進捗状況は
・自主防災組織リーダー育成研修会について各班対象の研修実施を



加藤 吉則

日本共産党議員団

豚コレラ対策を徹底せよ

昨年の岐阜市での豚コレラ発生を受け、越前市ではどのような対策を行ったのか。また今年7月市内で感染が確認された後はどのように感染防止の対策を行ったのか。

昨年12月に市独自で豚コレラ緊急防疫対策事業を立ち上げ養豚農家への支援を実施した。感染確認後は服間・白山地区での野生イノシシ用の経口ワクチンの散布等、県と連携して防御措置を講じるとともに、豚へのワクチン使用等を県へ要望した。養豚農家の経営を守るため、今後も県と連携し豚コレラ対策を継続していく。

他の質問項目

- ・放課後児童健全育成事業
・外国人との共生について



小玉 俊一

市民ネットワーク

福祉

高校卒業までの医療費無料化を実施せよ

子育て支援策としての高校卒業までの医療費無料化の必要性を市長はどう考えるのか。全国では3割を超える自治体を実施しているが、越前市として実施する考えはないのか。

現在は小学校3年生までとなっている県の負担が引き上げられれば、市がそれに伴う負担をする形で、来年度からでも高校卒業まで引き上げるべきだと考えており、補助対象年齢の拡充を県に強く要望している。

他の質問項目

- ・来年度は国保税の見直しの年だが、加入者負担は増えるのか
・幼児教育の無償化が始まるが、あわせて給食費無償化の考えはないか



前田 修治

日本共産党議員団

ひきこもりから就労につなげる支援方法は

地域福祉を推進するには、地域課題の把握が必要である。ひきこもり状態にある方や家族への支援が地域課題の一つであるが、ひきこもり支援のための就労準備支援事業の内容を示せ。

生活リズムが崩れている、社会との関わりに不安を抱えている、就労意欲が低下しているなどの複合的な課題を抱えている方に対し、就労につながるまで基礎能力の形成を計画的かつ一貫して支援する事業である。

他の質問項目

- ・肺がん検診の受診率向上に向けた取り組みについて
・食品ロスの削減の推進について



桶谷 耕一

諸派

防災

外国人市民への災害等の情報発信に努めよ

日本語がある程度理解できる外国人5人程度を防災リーダーに委嘱し、外国人とのつなぎ役を務めてもらう仕組みや、企業を巻き込んだチャンネルが重要だという市長の発言に対し期待するところであるが、他に考えはあるか。

外国人市民への自然災害等の情報発信については、市が中心となり、積極的に取り組むべき重要な課題と認識している。一方で、原子力災害については、原子力に関する専門用語を的確に翻訳することが求められるため、国や原子力事業者の協力を得ることが不可欠であり、国や事業者に対して、対応を強く要請した。

他の質問項目

- ・丹南広域農道の県道昇格および4車線化について



大久保健一

誠和会(自民)

土木

大規模自然災害への対応として「国土強靭化地域計画」を策定せよ

国では、災害に対応できる強靭な国土を構築するための「国土強靭化基本法」を策定し、地域での取り組みを推進するため「地域計画」の策定を補助金交付金の要件とする見込みである。越前市でも「地域計画」を策定すべきではないか。

国土強靭化地域計画の策定および推進により、人命の保護、被害の最小化、迅速な復旧・復興に繋がることや、国土強靭化事業に関する補助金や交付金が見込めることから、「地域計画」の策定に向けて検討していきたい。

他の質問項目

- ・地球温暖化による治水計画
・地球温暖化による避難確保計画



小形 善信

志政会

教育

外国人児童・生徒の日本語支援のためのプレ教室導入を検討せよ

現在、越前市の小中学校に219人の外国人児童・生徒が在籍し、日本語指導員が各学校を巡回し指導に当たっているが、予算も人も限られている。子どもたちや学校現場のためにも、プレ教室の導入を検討するべきではないか。

日本語の初期指導は子どもの年齢や母国語の習熟度に合わせ指導している。他県においては本市と違った方法で指導を行っている例もある。本市に最も適した教育環境の構築に向け総合的に検討していく。

他の質問項目

- ・「食と農の創造ビジョン」改定に当たり「食と農と環境の創造ビジョンへ」
・市役所の会議でペットボトル使用の自粛を



大久保恵子

諸派

次世代のスクールネットワーク構想に対応せよ

国がGIGAスクールネットワーク構想を打ち出し、来年度から小学生のプログラミング教育が導入されるが、越前市の対応は。

児童用タブレットパソコンに必要な学習ソフトを入れ、プログラミング教育を各教室で実施可能とした。また高速かつ容量的にも十分な通信ネットワーク環境も整備した。この環境のもと、児童・生徒の情報活用の実践力や情報社会に参加する態度、プログラミング的思考などを育成していきたいと考えている。

他の質問項目

- ・家族介護の対応
・瓜生産業団地のその後



吉村 美幸

諸派

市議会本会議・常任委員会を 傍聴しませんか

本会議や委員会は、入口で住所、氏名などを記入するだけで、どなたでも傍聴できます。お気軽にお越しください。

- 本会議** 議場傍聴席入口（市役所別館 6 階）
- 委員会** 大会議室（市役所別館 2 階）



12月定例会日程

月日	曜日	時間	会議名	丹南ケーブルテレビ 再放送予定時間 (変更になる場合もあります)
11月28日	木	午前10時	本会議 (決算特別委員会 審査結果報告・ 採決、 提案理由説明)	11月29日 午後6時
12月 3日	火	午前10時	本会議 (代表質問)	12月10日 午後6時
5日	木	午前10時	本会議 (質疑)	12月11日 午後6時
6日	金	午前10時	本会議 (一般質問)	12月12日 午後6時
9日	月	午前10時	本会議 (一般質問)	12月13日 午後6時
11日	水	午前10時	教育厚生委員会	
12日	木	午前10時	産業建設委員会	
13日	金	午前10時	総務委員会	
19日	木	午後 2時	本会議 (委員会審査結果 報告質疑・ 討論・採決)	12月20日 午後6時

9月定例会 一般質問

北陸新幹線

問 北陸新幹線南越駅(仮称)周辺まちづくりについての考えを

南越駅(仮称)周辺まちづくり計画における、AIやIoT関連の施設の誘導について説明せよ。また南越駅周辺まちづくり協議会から提案のあったドーム型スポーツ施設整備についての考えは。

答 国が提唱するAI等を活用した「Society5.0」に基づき、県内一のモノづくりのまち越前市に先端技術誘致は有益と考える。また、ドーム型スポーツ施設の整備については、例えば長期ビジョンの中で位置づけ、南越駅(仮称)の周辺に立地できないかということ等を県に要望している。

他の質問項目
・道の駅および産業全体の考え方について
・水泳場再整備、武生公会堂記念館活用に伴うまちづくりについて



未馬会
近藤 光広

農業

問 家族農業など小規模農業者を支援せよ

地域の食を支え、農地や自然環境を保全するために、家族農業など小規模農業者は重要な役割を担っていると考えるが、その支援策はあるか。

答 現在、小規模な園芸ハウス資材費の一部(補助対象経費の3分の1以内で上限20万円)を補助しているが、今後も、県とともに、農家の新たなチャレンジに要する経費に対する支援を行い、家族農業者が意欲を持って営農できるような市も支援をしていきたい。

他の質問項目
・多様な森づくりについて



未馬会
橋本弥登志

決算特別委員会を設置

9月定例会に提案され、閉会中の継続審査とした平成30年度各会計決算認定8案を審査するため、9月5日に議長および議会選出監査委員を除く全議員20名による決算特別委員会を設置しました。常任委員会の構成に合わせて、総務・教育厚生・産業建設の3分科会に分かれて定例会終了後に審査し、全体会で採決します。審査結果は、12月定例会で報告されます。

決算特別委員会

委員長 大久保健一
副委員長 川崎 俊之

- 中西 昭雄
- 清水 一徳
- 近藤 光広
- 小玉 俊一
- 加藤 吉則
- 題佛 臣一
- 大久保恵子
- 小形 善信
- 前田 修治

(総務分科会)
委員長 吉田 啓三
副委員長 清水 一徳
橋本弥登志
大久保恵子

- 大久保健一
- 前田 修治

(教育厚生分科会)
委員長 片粕正二郎
副委員長 中西 昭雄
小玉 俊一
川崎 俊之
川崎 悟司

- 吉村 美幸
- 題佛 臣一

(産業建設分科会)
委員長 安立 里美
副委員長 砂田 竜一
桶谷 耕一
加藤 吉則
前田 一博

- 近藤 光広
- 小形 善信

議会 人事の変更

委員会

議会運営委員会
委員長 川崎 俊之
副委員長 近藤 光広
委員 吉田 啓三
題佛 臣一
安立 里美
前田 修治

総務委員会

委員長 吉田 啓三
副委員長 清水 一徳
委員 橋本弥登志
大久保健一
大久保恵子
城戸 茂夫
前田 修治

教育厚生委員会

委員長 片粕正二郎
副委員長 中西 昭雄
小玉 俊一
吉村 美幸
川崎 俊之
題佛 臣一
川崎 悟司

組合議会議員

南越清掃組合議会議員
三田村輝士

公立丹南病院組合議会議員
三田村輝士

越前三国競艇企業団議会議員
小玉 俊一

福井県後期高齢者医療
広域連合議会議員
片粕正二郎
三田村輝士

議会モニターだより

議会モニターは定例会前後に会議を開き、傍聴の感想や意見交換を行っています。意見交換の中で、議員と考えを聞く機会を設けてほしいとの意見が多くあったことから、8月と10月に議員との意見交換を行います。今回はその内容をお伝えします。

8月26日(月) 全議員との意見交換

初めに全議員がそれぞれの政治信条を話した後、議会モニターと意見交換を行いました。(写真左)
意見交換では、多文化共生や瓜生産業団地、豚コレラの対応など市の施策に関する議員の考え方や議会運営のあり方、議員の意見を集約し議会としての意見をまとめていくことが大切であること、またフェイスブックなどSNSを使用することで議員の活動内容が見え身近に感じられるのではないかなど、多くのモニターから意見がありました。



10月16日(水) 教育厚生委員との意見交換

まず、議会改革に向けての課題と委員会でも扱う分野(福祉、教育)についての政策課題について全委員が意見を述べた後、意見交換を行いました。(写真左)
意見交換では、現在2名となっている会派の要件を3名にすべきであるとの意見、一般質問で議論が深まるような質問の構成にしてほしいとの意見、小中高生に実際に議会を見てもらうとか、意見を交換してもらおうといったのではないかなどモニターから多くの意見が出されました。



速報!

市民と語る会を開催



越前市議会では、市民に開かれた議会の実現を目指し、毎年市民との語る会を開催しております。今年も10月23日(水)を皮切りに、市内6か所で開催し、多くの市民の方のご出席をいただいております。ありがとうございます。

語る会で出た意見につきましては、次回発行の議会だより第59号(令和2年2月14日発行)でご報告いたします。

インバウンド事業の現状と課題を認識 丹南地区市町議会議長会議員研修会

丹南地区市町議会議長会では、毎年、丹南地区2市3町の議員が参加し、丹南地区の諸問題や議会の活性化など共通する課題を解決するための研修会を実施しています。

今年も10月21日(月)に講師に宮地広樹氏(一般社団法人越前市観光協会 統括ディレクター)を迎え、「越前市インバウンド事業とその発展的可能性について」をテーマにご講演いただきました。
講演会では、丹南地区は伝統工芸品の産地が集積する全国的に珍しい地域であることから、工場など産業に関する施設を活用するクラフトツーリズムが有効であること、インバウンド(訪日外国

人)は訪日の目的として食事とショッピング、それらを満たす都市への滞在があることを挙げられ、越前市インバウンド事業は伝統的工芸品をメインとして観光誘致を進め、そこで得たノウハウや仕組みを丹南地域全体で広域活用していくことを目指している、との説明がありました。

質疑応答では、出席議員から、空港などでの情報発信のあり方や北陸新幹線南越駅(仮称)での観光案内における丹南5市町の観光協会との連携、クラフトツーリズムを行う上でのデータ収集の現状などについて質問があり、活発な意見交換がなされました。



定住化の促進の施策を議論

岐阜県高山市と行政懇談会を開催

高山市と越前市(旧武生市)は、市政や風土などが類似した都市形態であり、金森家や本陣屋と高山陣屋とのつながりなど歴史的な背景を絆として、昭和57年に友好都市の提携をし、相互交流を行っています。

今年高山市議会が10月7日から8日にかけて越前市を訪問し、「定住化の促進」をテーマに懇談会を行いました。

越前市の取り組みについて、吉田総務委員長が、高山市の取り組みについて、水門高山市議会総務環境委員長が説明し、両市の特色ある施策について意見交換をしました。

高山市では、都市部に潜在的に存在する移住希望者に対し、都市部での移住者交流会や就職セミナーの開催、ホームページやSNSによる情報発信、東京にあるふるさとこ帰支援センターなどでの移住相談窓口を開設するなどの取り組みを行っています。また、移住者の受入環境の整備として、空き家の購入、改修、賃貸に対し補助金を支給しているほか、移住体験施設での移住体験などに取り組んでいるとの説明がありました。



定住化の促進について意見を交わす



万葉集と味真野地区の関係を説明する越前市議会議員(左から1人目、2人目)

翌日の8日(火)はあいにくの雨となりましたが、越前市の現場視察として、万葉の里味真野苑と岡太神社・大瀧神社に向かいました。

万葉の里味真野苑では、普段から越前市観光ボランティアガイドとして活躍している加藤吉則議員と吉村美幸議員が、直接おもてなしするというサプライズ企画を実施しました。二人が色鮮やかな万葉衣装に身を包み出迎えた時には、バスから降りた高山市議会議員から驚きの声があがりました。

現地では、元号が令和に変わって以来多くの観光客が訪れていることや、万葉集に残された相聞歌などについて、万葉館を活用しながら詳しく説明を行いました。

また、岡太神社・大瀧神社では、紙の文化博物館の川崎博館長が詳細にわたる説明をされ、高山市議会議員からは、大屋根の改修のための寄附をいただきました。この地は金運のパワースポットでも有名であることから、訪れた議員は今後の開運を祈願し、帰路に就きました。

現庁舎での議会は12月が最後

現在の議場で行う議会は12月定例会で最後となります。現議場は昭和52年(1977)12月に竣工し、これまで市政に関し多くの議論がなされました。現在の議場で行われる最後の議会への傍聴にぜひお越しください。

傍聴席から見た新庁舎の議場 (イメージ図)



傍聴席から見た現在の議場



さよなら議場見学会にお越しください

越前市議会ではさよなら議場企画として、議場見学会を開催します。

日時 12月3日、6日、9日、19日 本会議終了後

12月22～26日 10:00～12:00
13:00～15:00

※上記日程以外を希望される場合は、市議会事務局までお問合せください。

場所 市役所別館5階 議場

どなたでも見学できます。子どもからお年寄りまで、多くのお越しをお待ちしております。



問合せ先

市議会事務局

Tel (22) 3426